

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

農林畜産食品部プレスリリース (2015年8月20日18時00分付け)

鳥インフルエンザ（AI）は、私の手の中に

- スマートフォンでリアルタイムに渡り鳥の移動状況の把握が可能 -

出典URL:

http://www.maf.go.kr/list.jsp?&news_id=155447087§ion_id=b_sec_1&pageNo=1&year=2015&listcnt=10&board_kind=C&board_skin_id=C3&depth=1&division=B&group_id=3&menu_id=1125&reference=&parent_code=3&popup_yn=&tab_yn=N

(機械翻訳等に基づく仮訳)

《 主な内容 》

- ・農林畜産検疫本部は、位置追跡装置を取り付けた渡り鳥の位置情報をリアルタイムで把握できる「渡り鳥の位置追跡統合管理システム」を開発
- ・スマートフォンやウェブ上でリアルタイムに野鳥の位置と移動経路、農家との距離情報などを提供し、農家の防疫意識を高めることで、鳥インフルエンザの予防に積極的に活用

農林畜産検疫本部は2015年8月18日、位置追跡装置を取り付けた渡り鳥の位置情報をリアルタイムで把握できる「渡り鳥の位置追跡管理統合システム」を開発し、特許出願準備中と発表した。

農林畜産検疫本部は（株）韓国環境生態研究所と一緒に、2013年から鳥インフルエンザと渡り鳥の関連性、渡り鳥の移動経路と生息地の把握などのために市販のネットワーク（WCDMA）と衛星（PTT）を利用した位置追跡装置を渡り鳥に装着してきた。

*13年75匹、14年70匹装着完了、15年355羽装着予定

位置追跡装置が装着された野鳥の種類や個体数が増加し、渡り鳥の位置情報を迅速に把握し、管理することが難しくなったことから、（株）レイフルソフトと一緒に「位置追跡統合管理システム」を開発した。

位置追跡統合管理システムは、「政府3.0」実現のために、スマートフォンを介して手中でリアルタイムに渡り鳥の移動経路等に関する情報を把握できるように製作された。

開発されたシステムは、位置追跡装置を取り付けた渡り鳥の移動経路、農家と渡り鳥の間の距離、過去に高病原性鳥インフルエンザが発生した農家や野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出された地域など、様々な情報を含んでいる。

位置追跡装置を装着した渡り鳥の移動ポイント、時期及び移動経路を表示することができ、表示されたポイントの正確な住所を知ることができることから、移動経路の比較など

の関連研究が可能となる。

位置追跡装置と統合管理システムの開発により、渡り鳥の移動経路の追跡が可能となり、継続的な位置追跡装置装着事業が進められる場合、鳥インフルエンザのような渡り鳥によって伝播される病気の科学的かつ体系的防疫措置が可能になると期待される。

農林畜産検疫本部のドアウンギヨン研究官は「位置追跡装置を装着した渡り鳥が家きん農家の一定の半径内に近づいた場合、家畜防疫担当者および家きん農家に『鳥インフルエンザの予防および防疫措置の強化』の文字を自動的に送信するなど、防疫に積極的に活用する計画である。」と明らかにした。

<<送信文字例示>>

農家用

[農林畜産検疫本部]（渡り鳥注意）

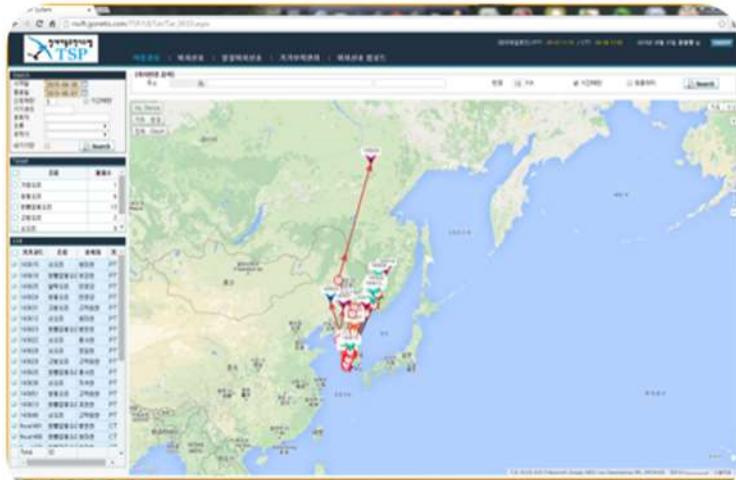
8月8日、羅州市潘南面のあなたの農場の周辺に渡り鳥が出没しているので、徹底した防疫措置を行ってください。

[農林畜産検疫本部]（渡り鳥注意）

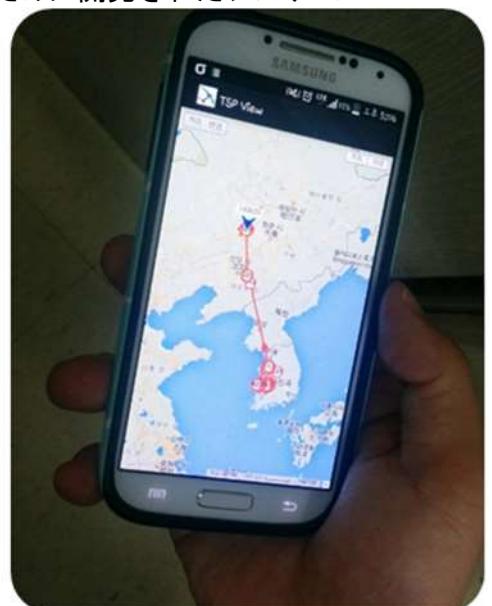
8月8日、あなたの農場周辺に渡り鳥が出没しているので、迅速な防疫措置を行ってください。

[付記]

位置追跡装置を装着した渡り鳥の効率的な管理と農家防疫活用のために開発されたシステム



In Web



In Smart Phone